

5月27日、有吉大使夫妻はサンサルバドル県のイロパango市に位置する日本企業 IUSA (Industrias Unidas, S.A.) 社を訪問しました。同社は、1955年に呉羽紡績(現:東洋紡)が戦後初めて海外に設立した会社であり、綿及びポリエステル混の紡績・織布・仕上加工事業を行っています。

有吉大使夫妻は、中山 IUSA 社社長から同社の概要説明を受けた後、同社の生産工程を見学しました。同訪問は、エルサルバドルにおける繊維業界とそこで活躍する日本の企業の現状を知る良い機会となりました。

同社一角には、「信義ト敬愛ノ念ヲコメテ エルサルバドル共和国ノタメニ」と刻まれた銅板が掲げてあります。また東洋紡は、IUSA 社の立ち上げに大きな貢献を果たした平生三郎氏(後の東洋紡副社長)の功績を称えて、平生三郎公園の建設費を寄付し、同公園がサンサルバドルに建設されました。

